

## 治安・安全情報（交通事故発生・対応 Q&A）【メールマガジン 2021 年 4 月号から抜粋】

豪州は日本と同じく車両は左側通行であり、道路交通法のルールも類似していることから、運転は比較的容易とされていますが、一方で、「歩行者用信号の青色表示が極端に短い」、「道路幅が狭く、車線数が突然減少するなどの地点が多い」などの特徴から、交通事故に遭いやすい環境でもあります。以下、NSW 州における交通事故の発生状況や事故に遭った場合の対応要領について Q&A 方式でまとめましたので、参考にいただければ幸いです。（※統計は 2019 年のものです）

Q NSW 州ではどれだけの事故が発生しているの

A 13,919 件の人身事故が発生し、17,548 人が負傷、うち 329 件で 353 人が死亡しています。状態別では、四輪車乗車中が 75%を占め、二輪車乗車中が 14%、自転車乗車中が 4%、歩行者 7%となっています。

Q 曜日別、時間帯別での発生特徴はあるの

A 曜日別で大きく差はありませんが、金曜の発生率が若干高く（16%）、日曜の発生率が最も低く（12%）なっています。時間帯別では、午前 6 時から午後 8 時の間の発生率が高く、中でも 16 時から 18 時の間の発生率が最も高くなっています。

Q 四輪車では、どの態様で多く事故が発生しているの

A 人身事故の 80%は以下の態様で発生しています。

- ・脇見等による前方車への追突
- ・交差点での出会い頭衝突
- ・交差点での右折車と直進車との衝突（いわゆる右直事故）
- ・速度超過等による路外逸脱

このため、NSW 州交通局は、以下の 3 点を特に遵守するよう呼びかけています。

- （1）速度制限を守り、体調不良時は運転しない
- （2）車間距離を保持し、早めのブレーキを心がける
- （3）交差点通行時や追い越しの際は特に注意する

Q その他の発生特徴を教えてください

A 知っておくべき特徴として以下が挙げられます。

- ・四輪車乗車中の死者の 13%はシートベルト不装着であり、自転車乗車中の負傷者の 1 割がヘルメット不装着であった。
- ・郊外での事故は州全体の事故の 3 分の 1 を占める一方、死者数は全体の 3 分の 2 を占めた。

- ・歩行者の死者中 64%が 60 歳以上の高齢者であった。
- ・速度超過が死亡事故の主な要因であった。
- ・木～土曜の夜の事故の 5 割以上が飲酒運転に関連した。

Q 事故に遭ったらどうしたらいいの

A 万一、交通事故に遭ってしまったら、気持ちを落ち着けて、次のことを行ってください。

○時間と場所及び相手の車両ナンバー等の確認

NSW 州警察ウェブサイトで公開されている「交通事故処理メモ」を活用してください。

※交通事故処理メモ

[https://www.rfs.nsw.gov.au/\\_data/assets/pdf\\_file/0007/27358/NSWPF\\_Car\\_Crash\\_Glovebox\\_card1.pdf](https://www.rfs.nsw.gov.au/_data/assets/pdf_file/0007/27358/NSWPF_Car_Crash_Glovebox_card1.pdf)

○負傷者の救護

人身事故の場合は、「000」番に通報し、負傷者の救援を優先してください。

○警察への通報

次の場合には警察を呼んでください。

- ・人身事故の場合（負傷者がある場合）
- ・相手方が免許証等を所持していない場合
- ・飲酒運転の疑いがある場合
- ・相手方が逃げようとする場合
- ・相手方が情報の交換に応じようとしない場合

○相手の確認と証拠保全の措置

- ・相手の住所、氏名等は運転免許証等で必ず確認しましょう。
- ・事後の過失の認定や車両の損害程度を明確にするため、可能であれば写真を撮っておきましょう。
- ・後の交渉のため、目撃者がある場合には状況に応じ可能な限り「住所・氏名・電話番号」を聞いておきましょう。